

# 加佐登小学校学校運営協議会だより

令和2年11月26日(木)



## ◆第3回学校運営協議会（11月19日開催）

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりの授業参観を実施することが難しく、委員の方に子どもたちの学校生活を知らせていただくことができませんでした。

そこで、第3回は廊下から窓越しではありますが、参観していただき、昨年度と比べ、子どもたちの様子や学習環境について、いろいろ意見や感想をいただきました。

また、今年度承認いただいた学校経営の改革方針に基づいた学校評価の目標と指標について審議していただきました。

### 1 校内参観について

#### ●子どもの様子

- ・ 低学年から高学年の様子をみて、体の大きさの違いを改めて感じた。
- ・ 高学年の授業態度は、覚えてやろうという意欲にあふれていた。
- ・ 全体的に集中して落ち着いて学習していた。聴く態度がよかった。
- ・ 休み時間に子どもが、相手の顔をきちんとみて、大きな声で挨拶をしてくれた。感心した。
- ・ 授業をみるのは1年ぶり。学校全体が落ち着いてきて、ありがたい。

#### ●ICT機器の活用

- ・ 昨年度に比べ、ICT機器がこんなに充実していることに驚き、時代の変化を感じた。
- ・ 4年生ではクロームブックを使って、ローマ字入力をして検索をしていた。子どもたちは集中して取り組んでいた。先進的な学校はさらに進んでいると聞いている。一層の前進を期待したい。
  - 国のGIGAスクール構想が前倒しになり、一人1台パソコンや校内無線LAN整備に向けて進めている。
- ・ クロームブックを活用した調べ学習やプロジェクトによる教材提示に感心した。
- ・ ICT機器に慣れていくことは子どもたちの将来にとってもよいと思った。
- ・ 子どもたち一人一人が自ら調べる活動は楽しいものである。ICT機器を活用してどう授業をするのか、研修を一層がんばってほしい。
  - 月2回、ICT支援員が環境整備や授業での支援に入ってくれる。また、教員の研修にも関わってくれる。



#### ●新型コロナ感染症対策

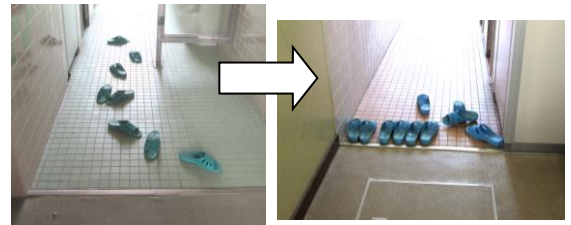
- ・ 感染症防止対策については人数が多いクラスでは教室が狭いように感じた。教室の換気については、どの程度窓を開けるとよいのか。開け方については、全校で確認し、徹底していく必要がある。また、消毒用アルコールスプレーの保管場所については、より安全なところにしたほうがよい。
- ・ フェイスシールドについては、どのような場所で使っているのか？
  - 給食の配膳時、調理実習、音楽の授業（歌唱、鍵盤ハーモニカ・リコーダー使用）、グループになっての話し合い活動等飛沫防止対策として使用している。



(裏面へ)

## ●その他

- ・ トイレのスリッパの向きが一部乱れているところがあった。  
→ 放課後に子どもたちでそろえる活動をしており、少しずつ意識をもてるようになってはきている。  
しかし、自分が使ったスリッパをそろえる習慣や乱れているスリッパを見かけたら自主的にそろえようとする心を育てていく必要がある。



【6月の頃】

【現在】

## 2 学校評価について

### ◆評価目標・評価指標について ※学校経営の改革方針は加佐登小学校 HP の基本情報に掲載

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休業からのスタートであり、通常の教育活動が始まったのは6月からであった。そのため、教育活動についてもどのようなことが行えるのか、先が見えない状況であった。しかし、2学期の教育活動が感染症対策をしながら、やり方を変え進められたため、学校評価についても具体的な評価目標や指標を設定できるまでに至った。

### <主な評価目標・指標>

#### ○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり

- ・ 今年度から、中心となる教科を算数に変更し、新学習指導要領に基づいた授業改善を進めている。
- ・ 教育 ICT の日常化については、今年度鈴鹿市全体で導入されたクロームブック、プロジェクトを活用した授業を進めている。

#### ○互いを尊重し、安心できる人間関係づくり

- ・ 「いじめはどんなことがあってもしてはいけない」と回答する児童 100%とともに、「いじめを見たり聞いたりした時に、止めるように言ったり、誰かに伝えたりすることができる」と回答する児童 80%以上という指標を設定し、取組を進めている。



#### ○児童生徒理解を基盤とした生徒指導

- ・ 今年度新たに設定した項目。組織的で統一感をもった生徒指導が行われるように、すばやく情報共有を行うことを全教職員で確認した。

#### ○教職員の働きやすい環境づくり

- ・ 本年度は国からも時間外労働削減の目安として、年間 360 時間以内、月 4 5 時間以内という目標を示されている。本校では、これまでは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教育課程の見直しや行事の検討、子ども一人一人の状況に応じたきめ細かい授業準備等のため、示された目標達成には難しい状況である。そこで、12 月からの 4 ヶ月で、全員が 120 時間以内（月 30 時間以内）という指標を設定し、月 2 回設定している定時退校日も少なくとも 1 回は実行することとした。
- ・ 学校環境の整備については、今年度は「トップダウンからボトムアップ」ということを大事にしたい。

⇒ 委員全員の賛成により、目標及び指標が承認されました。

### ◆保護者・児童・教職員アンケートについて

- ・ 教職員アンケートについては、今年度は学校経営の改革方針に基づいた教育実践を評価できるように、見直しを図った。

⇒ 委員全員の賛成により、目標及び指標が承認されました。